



ギャラリーⅡで再開した「だまし絵王エッシャーの挑戦状」特別展

巻頭言

震災とエッシャー展をめぐって

熊本市現代美術館が力を入れて企画した作品総点数約200点の「だまし絵王エッシャーの挑戦状」展は、多くの家族連れでにぎわい、順調な滑り出しでした。ところが開幕1週間にして大地震に見舞われ、中断を余儀なくされました。貴重な展示作品は、壁から落ちたものもありましたが、おおむね無事。余震が続く中、私たちは再開の可能性を模索しました。5月18日、整備が終了した展示室2室を使って、小規模ながらエッシャーの真髄を示す新たなバージョンのエッシャー展を、無料で実現できたのです。街なかにある美術館として、多くの市民、県民に待たれた再開で、週末には千人を超える入場者があり、6月12日までの限られた期間ではありましたが、総入場者は一万人を超えました。

エッシャー作品は、静かな迷宮世界であり、謎めいた内容は時代を超えた寓意や神話に通じ、美術史とのつながりのなかで、様々な引用も見られます。欧米並びに日本の多くの現代作家に影響を与え、さらに一連のロック・ミュージシャンたちが創造的な刺激を受けてきましたのも注目されます。例えば1960年代末のミック・ジャガーやモット・ザ・フープルに始まり、80年代にはデイビッド・ボウイ主演のファンタジー音楽映画「ラビリンス」が生まれました。この映像で興味を引くのは、エッシャーの魔術的建築が巧みにセットされ、水晶球が世界を透視し、進むことは戻ることに、上昇は下降など、逆転劇が展開されていたことです。出場する陽気な怪物バベットたちは、ポッシュやプリューゲルが描いた地獄や楽園を想起させました。

電子メディアやテクノロジーが進化した現代、ジャンルを超えた様々なアーティストがエッシャーに視線を注ぎ、新たな作品を生み出しています。震災前の「だまし絵王エッシャーの挑戦状」展では、国内外の作品と共に、その創造的流れを示していたことをここに記しておきます。

エッシャーは歴史に育まれ、時代を問い、未来に踏み込んでいた画家でありました。

熊本市現代美術館館長 桜井武

Contemporary Art Museum, Kumamoto

2016.6.25[土]—9.19[月・祝]

かえってきた!魔法の美術館

- かがやけ、くまもの笑顔たち -

CAMK
www.camk.or.jp

MUSEUM INFORMATION

2016 MAR-MAY

川内倫子展

2016.3.5&3.9

商店街ナイトツアー

「川内倫子展 川が私を受け入れてくれた」
日頃お世話になっている、地元商店街の皆さんを対象としたナイトツアーを開催しました。年度末に差し加った時期に開催したせい、参加人数はいつもより少なめでした。その分、丁寧にじっくりと川内さんの作品の魅力を体験いただけたようです。(H・T) 【参加人数8人】



だまし絵王エッシャーの挑戦状

2016.4.8

「だまし絵王エッシャーの挑戦状」展開幕



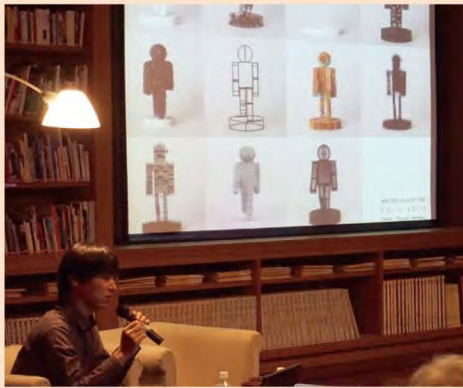
だまし絵の巨匠エッシャーを中心に、彼と関心の重なる古今のイリュージョニストたちの作品を紹介する「だまし絵王エッシャーの挑戦状」展が開幕しました。開会式には出品作家の星加民雄さん、早川直己さん、藤木淳さんにもご出席いただきました。内覧会では、エッシャーの緻密な版画から現代作家によるデジタル技術を駆使した映像まで、アーティストが多様な手法で生み出した不思議な世界を皆さん興味深そうに楽しんでいました。(G・S)

2016.4.9

アーティスト・トーク

「だまし絵王エッシャーの挑戦状」展で新作を発表された早川直己さんと藤木淳さんによるアーティスト・トークを開催しました。

早川さんは、自身の制作のきっかけや方法、その意図をお話ししてくれました。出展作品の《メタモルフォーゼ アルハンブラ》は、コンピュータに入れた数式から生み出された映像・サウンドによる作品。「数学の表現力」、「美しい数式は美しい形を生み出す」、「数学が苦手な人でも音楽に変換すると、数学的構造を感情として感じることが出来る」など、数学と美術の関係をユニークかつ明快な言葉で語ってくれました。藤木さんには、《OLE Coordinate



System》《MAN of figure-ground》など会場で展示しているインタラクティブなプログラムを始め、これまでの試みから現在検討中の試作品までをスライドや動画を用いながら紹介していただきました。お話の中では、一見ただだけではわからないプログラムの構造にまで踏み込んだ解説も。藤木さんの考える自らとエッシャーとのつながりや、「原理」と「媒体」の問題など、トークはどこまで広がっていきました。(Y・M) 【参加人数30人】

2016.5.18-6.12

地震による

一時閉鎖と再開



「だまし絵王エッシャーの挑戦状」展は地震の影響により、4/15から約一カ月の間、一時閉鎖を余儀なくされました。その後、再開を望む多くの方々からのお問合せや励ましと、ハウステンボス美術館のご厚意により、展示内容を変更して5/18より再開の運びとなりました。もとの会場(ギャラリーⅠ・Ⅱ)が使用不可だったため、ギャラリーⅢ・井手宣通記念ギャラリーを臨時会場とし、エッシャーの作品約40点のみによる入場無料の特別展示という形で再オープンとなりました。再開後

は、エッシャー作品を楽しむにしていた皆さんで連日たいへんにぎわいました。(G・S)
久々にじっくりアートの触れることができ、そのこと自体で日常を取り戻せた気がします。無料という粋なはからいに感謝です。(アンケートより)

2016.5.28

講演会「エッシャー その作品と生涯」



講演会の再開に合わせて、延期となっていた関連イベントの講演会も日程を変更して開催することができました。講師は、佐世保市博物館島瀬美術センター館長の安田恭子さん。安田さんは、前職ではハウステンボス美術館の学芸員・館長代理を務められ、長年にわたりエッシャーの作品と向き合ってこられました。今回は「エッシャー その作品と生涯」と題して恩師ド・メスキータとの出会い、イタリアでの周遊、エッシャー独自の世界について、三部構成でお話をしていただきました。今回の出展作品を含めた、エッシャーの名品の数々を制作年順に「平面の正則分割」「変容」「無限性」「不可能な遠近法」などのキーワードで解説される講演会となりました。(Y・M) 【参加人数40人】

2016.2.27

GⅢ-vol.109

「淀川テクニック」

「ゴミニケーションin熊本!!」

淀川テクニック展の開催を記念して、アーティスト・トークを開催しました。トークでは、淀川テクニックの柴田英昭さん、松永和也さんにご登壇いただき、お二人にこれまでの活動や、本展の展示、そして熊本での公開制作についてお話しいただきました。公開制作のため、熊本で



のゴミ集めにご協力いただいた中央区役所やグリーンボード熊本チームの方々もトークに駆けつけて下さり、アットホームな雰囲気の中となりました。(A・A)【参加人数40人】

《オンチヌ》

熊本市動植物園へ

2016.3.19

2/22から(仮称)花畑広場で公開制作された淀川テクニックの《オンチヌ》が、熊本城の麓にある観光施設、桜の馬場城彩苑での屋外展示を経て、中心市街地から少し離れた江津湖のほとりにある熊本市動植物園に移動しました。

総面積24・5ヘクタールもある広大な園内には、約120種800頭の動物と約800種5万点の植物が生息しています。今回《オンチヌ》を展示させていただいたのは、西側の植物ゾーンに広がる花畑のエリア。時計塔をバックに、菜の花や桜、サルビアといった季節の花々に囲まれ、カラフルなTシャツのウロコを



まとった《オンチヌ》は、生き生きと存在感を放ちました。「淀川テクニック ゴミニケーション in 熊本!!」展の開催に伴い、様々な方のご協力のおかげで《オンチヌ》は熊本市内3ヶ所を回遊し、美術館以外の場所でも多くの方に作品を見ていただく機会を得ることができました。(M・I)

2016.3.9-3.21

くまモン写真展

「くまモン誕生祭2016」の関連事業として、写真家・宮井正樹さんによる「くまモン写真展」が子育てひろば奥で開催されました。展示されたのは、アメリカ、イタリア、フランス、スペインなど、世界各地を巡ったくまモンワールドツアーでの貴重なショットばかり。3/14にはくまモン本人もサプライズ登場。居合わせたお客さまもとても喜んでいました。(A・S)



「くまモン誕生祭2016」の関連事業として、写真家・宮井正樹さんによる「くまモン写真展」が子育てひろば奥で開催されました。展示されたのは、アメリカ、イタリア、フランス、スペインなど、世界各地を巡ったくまモンワールドツアーでの貴重なショットばかり。3/14にはくまモン本人もサプライズ登場。居合わせたお客さまもとても喜んでいました。(A・S)

2016.5.12

「明後日朝顔プロジェクト2016」始動!

「明後日朝顔プロジェクト」は、アーティスト日比野克彦さんによる、朝顔を通じて人や地域同士を結んでいくという理念に基づいたアートプロジェクトです。2007年の「HIGO BY HIBINO」展から参加してきた当館の活動が、今年10周年を迎えるということで、例年以上に盛り上げてまいります!!その第一歩、「種まき」を5/12にスタッフ皆で行いました。10年大切に継いできたCAMKの朝顔の種は、美術館受付とアートスカイギャラリーにて皆さまにも配布しました。ぜひご家庭で、毎日すくすく育つ朝顔とともに元気をチャージしてくださいね。美術館の朝顔はアートスカイギャラリーの大窓から眺めることができます。(H・T)



「明後日朝顔プロジェクト」は、アーティスト日比野克彦さんによる、朝顔を通じて人や地域同士を結んでいくという理念に基づいたアートプロジェクトです。2007年の「HIGO BY HIBINO」展から参加してきた当館の活動が、今年10周年を迎えるということで、例年以上に盛り上げてまいります!!その第一歩、「種まき」を5/12にスタッフ皆で行いました。10年大切に継いできたCAMKの朝顔の種は、美術館受付とアートスカイギャラリーにて皆さまにも配布しました。ぜひご家庭で、毎日すくすく育つ朝顔とともに元気をチャージしてくださいね。美術館の朝顔はアートスカイギャラリーの大窓から眺めることができます。(H・T)

2016.5.25-6.27

今田淳子「HIGOROCK!」

HIGOROCK!

第1弾 肥後花菖蒲公開

2017年秋に開催予定の開館15周年記念展第3弾「誉(ほま)れのもと」展(仮称)プレイベントとして、熊本市在住の現代美術家・今田淳子さんが、市民から募集した古着物を活用し、肥後六花を咲かせるプロジェクト「HIGO・ROCK! HIGO・ROCCA!」を発動しました。これは、いまをひたむきに生きる熊本女性の女性たちを応援するための肥後六花を、皆さまとともに、個性豊かに、晴

れやかに開花させていくプロジェクトです。

今年3月〜4月に古着物を一般募集したところ、32名の方から350点もの着物や小物などをご寄贈いただきました。本当にありがとうございます。(現在は受付しておりません。作業もアトリエと自宅

に大きな被害を受けながら、ご提供いただきました着物を大事に守り、作品を制作しております。

5/25より、プロジェクトの第1期として「肥後花菖蒲」



ワークショップ

「コンドルズと遊ぼう！」

講師にダンス集団「コンドルズ」から近藤良平さん、藤田善宏さん、山本光二郎さんをお招きして、親子で楽しく体を動かすワークショップを行いました。子どもたちは馬跳びのようにずらりとならんだ大人のおなかの下をくぐったり、橋のように背中を渡ったり…。他にも、大きな輪になって波のように動作をつなげ



ていく遊びや、子どものころ布団の上でやってもらったような親子のふれあい遊びを楽しみました。子どもたちはキャッキヤと笑いながらテンションはマックス！最後はピアノの音楽に合わせて、ゆーらゆーらと草のように揺れてみたり、ぶるぶる震えながら歩いてみたり…。全身を使ってユニークな動きを楽しみました。なお、このワークショップは熊本県立劇場との連携事業として開催されました。(K・O) 【参加人数40人】

詩の朗読会

2016.2.25

詩の朗読会 第147回

テーマ「猿(申)」



飛び入り1名を含む7名の方に、詩、絵本、童話などバリエーション豊かな力作を披露していただきました。「猿真似」「猿知恵」「猿芝居」などあまり芳しくない言い回しで使われることもある「猿」ですが、元は同じ祖先をもつ猿とヒト。他人を小ばかにしたりする自分(ヒト)の姿に自戒の念を込めた詩が詠まれたり、「去る者を追わず」「招かれざる」など韻を踏んで言葉遊びをする作品もありました。また「犬狼の仲」をモチーフにした童話「不機嫌な猿」では、飼い主に従順な犬とそんな犬を馬鹿にして自由を謳歌する猿が登場しました。空に浮かぶ三日月を「熊の爪のような月」と表現するなど、独特な言葉遣いが印象的な物語でした。絵本「ばあばとちやーちゃ」は以前の朗読会でも披露された詩でしたが、今回は手作り絵本として披露されました。(H・Ts) 【参加人数7人】

月曜ロードショー上映報告

毎週月曜日14時・18時より 無料 定員90名

上映リスト(2/22~5/28)

- (※4月19・26日、5月2・9日は震災のため休止。5月の上映は14時の回のみ。)
- 2月22日 「恋するパリのランデヴー」 2012年フランス映画 110分
- 2月29日 「台北の朝、僕は恋をする」 2010年台湾・アメリカ映画 85分
- 3月7日 「ジュリエットからの手紙」 2010年アメリカ映画 105分 (提供・熊本市男女共同参画センターはあもに)
- 3月14日 「アデュール・フィリピーヌ」 1961年フランス映画 110分
- 3月21日 「青空に踊る」 1943年 アメリカ映画 89分
- 3月28日 「ラジオ」 2014年 日本映画 89分
- 4月4日 「旅立ちの鳥唄(十五の春)」 2013年日本映画 114分(日本語字幕つき)
- 4月11日 「幸せな時間」 2011年日本映画 72分
- 5月16日 「マダム・イン・ニューヨーク」 2012年インド映画 134分
- 5月23日 「オードリー・ヘプバーンの素晴らしき遺産」 1951年イギリス映画 93分

こども向け上映会

5月14日以降の毎週土日 10時半より 無料

- 5月14日 「14ひきのあさごほん」 2007年
- 5月15日 「14ひきのびくにっく」 2007年
- 5月21日 「14ひきのひっこし」 2007年
- 5月22日 「キャスパーパーボート」より1・4話 1945・1950年
- 5月28日 「キャスパーパーボート」より5・8話 1951年

2016.3.24

詩の朗読会 第148回

テーマ「アルバム」

川内倫子展に関連して、「アルバム」をテーマに、6名の方が詩を発表しました。「蒐集」という字の中には「鬼」という字が潜んでいることから発想した詩や、母が処分してほしいと言っていたアルバムを探す、という複雑な思いを歌った詩もありました。また、アルバムの中から見つけた歌詞カードから、若い日のカフェでのデュエットのときのことを思い出した詩も印象的でした。夫婦になった今とは違う二人を思い出して、照れている様子が目に浮かぶようでした。アル

バムというテーマから、記憶や思い出にまつわる気持ちをよむ詩が多く読まれ、後半は自由なテーマで発表し会を閉じました。(A・M) 【参加人数6人】



2016.3.20

第7回オハイエくまもと とっておきの音楽祭

街なか全8カ所で行われた「とっておきの音楽祭」。会場の一つとなったホームギャラリーもたくさんのお客さまでにぎわいました。トーンチャイムやピアノ、声楽など、様々な音楽が16組のグループによって奏されました。「みんなちがってみんないい」が合言葉のこのイベントには、音楽を通してすべての人が優しい気持ちになれるように、という思いが込められています。会場に来られた



オーディエンスの皆さんも手拍子をしたり、歌を口ずさんだりして演奏を楽しんでいました。(Y・M)

【参加人数 130人】

2016.3.13

STREET ART-PLEX KUMAMOTO 大道芸2016



STREET ART-PLEX KUMAMOTO
のイベントの中でも、特にたくさん
の笑い笑顔が溢れるのが「大道芸」
です。今年の現代美術館会場では「紙
芝居屋 ぐれつち」と「コミカル
ピエロ ちやちや丸」さんが出演しま
した。

ぐれつちさんは、昨年も会場を楽
しませてくれたオリジナル紙芝居「ど
んぐりおぼけ」と「しるえつとくい
ず」を披露。どんぐりおぼけのシリ
ーズでは、どんぐりおぼけよりも怖い、
焼きいもおぼけも登場し、昔ながら
の紙芝居を「今の子どもたち」と「昔
の子どもたち」で楽しみました。最



後は、しるえつとクイズを会場のみ
んなで声を合わせて答え、正解した
みんなにぐれつちさんから「褒美が
ちやちや丸さんは、ジャグリング
や皿回しなど、アクロバットなパ
フォーマンスを見せてくれました。
バランスボードの上で剣を使った
ジャグリングが成功すると、会場か
ら拍手喝采！子どもたちもパフォー
マンスのお手伝いをしたり、皿回し
を一緒にしたりと大活躍しました。
時々いたずらも交えておどけるピエ
ロに、たくさん笑いが湧き起り
ました。(Y・M) 【参加人数67人】

2016.3.26

STREET ART-PLEX KUMAMOTO Great Composer Memorial シリーズ ベートーヴェン・ドビュッ シー・ラフマニノフ

偉大な作曲家の命日にちなんだク
レート・コンポーザー・メモリアル
シリーズ。今回は、ベートーヴェン、
ドビュッシー、ラフマニノフの作品
によるメモリアルコンサートを開催
しました。(命日は順に3月26日・25
日・28日。) ちいさなピアニストたち
の可愛らしいソロから始まり、しっ
とりとしたドビュッシー「月の光」、
軽やかなベートーヴェンの「テンペ



スト」、ダイナミックなラフマニノフ
「楽興の時」などのバリエーション豊
かなピアノソロ、息の合った連弾と、
優しい音色が重なるフルートカ
リネットが続きます。最後には、ゲス
トの龍野満里絵さん(ヴァイオリン)、
龍野しずくさん(チェロ)、藤本史子
さん(ピアノ)によるラフマニノフ「ピ
アノ三重奏曲第1番」の情熱的な演
奏で締めくくりました。表情豊かな
演奏に、大人も子どもも聴き入って
いました。(A・M) 【参加人数60人】

2016.5.19

STREET ART-PLEX KUMAMOTO On The Corner 「Karmán 流離る音楽〜2016」

モンゴルとアイランドの音楽を
ベースに新たなアイデアを取り入れ、
個性的かつ普遍的な音楽をつくり出
すグループ「Karmán (カルマン)」の
コンサートを開催しました。カル
マンは、馬頭琴、ハンマードルシ
マー、パウロン奏者の3人によるク



ループ。日本では珍しい3つの楽器
の演奏を生音でお楽しみいただきま
した。幾重にも重なる楽器の音色に、
「ホーミー」と呼ばれる笛のような
不思議な歌唱が加わった音楽は、ど
こか懐かしく、時には神秘的な音色
にも聴こえました。コンサートの途
中には、楽器の紹介とソロ演奏もあ
り、ひとつひとつの音を堪能できま
した。最後は、会場からのたくさん
のアンコールの拍手に答えて、蜃気
楼のようにやって来る恋人を慕った
モンゴル民謡「遠い蜃気楼」が演奏
されました。(Y・M)

【参加人数80人】

CAMKEESの活動

2016.3.19

CAMK読みがたり第79回

テーマ「いっぱい遊ぼう」

3月のテーマは、「いっぱい遊ぼう」です。今回もたくさんのお友だちが集まってくれました。今回ご紹介したのは、絵本『ぼぼぼぼ』や、手遊び「タンポポ」、紙芝居「おにぎりおにぎり」など春の香りいっぱいのお話です。絵本「シーソー遊び」では、つぎつぎに登場する動物たちとダイナミックなシーソーの絵に、子どもたちはじっとお話の世界に入り込んで



離れた色紙はクルクルと回りながら散っていきました。まるで花びらのようなその様子に、みんな大はしゃぎでした！(K・O) 【参加人数25人】

2016.5.21

CAMK読みがたり第80回

テーマ「ふしぎなせかい」

5月のテーマは、エッシャー展にちなんで「ふしぎなせかい」です。3月以来の開催ということもあって、いつも増して多くの子どもたちが来てくれました！「くものひとくやくん」では、「くすぐって」と言われて、子どもたちも走り寄って優しく絵本に触れると、ぐにゃくくんが笑い出すなど、色々な反応に子どもたちはわくわくして前のめりになっていました。「やさいのおなか」では、輪切りのシルエットから何の野菜かを想像するのですが、れんこん！ピーマン！



歌いながら体を動かして、楽しく和やかなひとときを過ごしていただきました。(A・M) 【参加人数37人】

Visitor's letter

川内倫子展 川が私を受け入れてくれた

阿蘇の野焼き、今回の企画の熊本を主題とした「川が私を…」が素晴らしい。野焼の撮影に5年もかけた努力に敬意を表します。(県外30代男性)

美しくもどこかリアルで生々しく、心にガツンと響くものばかりでした。今日一日で自分の世界が変わったような気がします。夢のような素敵な時間でした。(市内10代女性)

《Cui Cui》を見て自分と重なる気がして泣きました。何気ない一瞬をとらえた写真が心に響きました。(市内40代女性)

久しぶりに温かい涙を流せた気がします。(20代女性)

淀川テクノニックコミニーションin熊本!! たまたま熊本へ来る機会があり、立ち寄らせて頂きました。今回タダで!しかもおふたりのトークも聴くことができ、大変素敵な一日となりました。ありがとうございました!!(県外30代女性)

だまし絵王エッシャーの挑戦状 代表的な作品や、版木を見ることができてよかったです。非日常感が味わえて心が休まりました。(市外40代女性)

地震の前に来ればよかった、そればかり。エッシャーの有名な絵は単体でいくつか見ていましたが、まとめてみたのは初めてです。流れや構成への影響がわかって面白かったです。(市内40代女性)

「まわりで観ている方の声を聴きながら楽しむ」というこれまでにない観方が出来ました。こういう楽しい展覧会は、1人ではなく、複数で来るべきだったと思います。(市内50代女性)

滝の作品が昇れないはずの水が昇っていった、また滝からこぼれ落ちるのがすごかったです。(市内9歳男性)

街なか子育てひろば

2016.2.18

街なか子育てひろばイベント

「親子でアートを楽しもう」

今回の講師は、現代美術家の今田淳子さんです。はじめに、スライドを使って様々な穀物についてのレクチャーを行いました。海外での体験や子どもの頃お米で遊んだ経験なども交えたお話しに、お母さんたちは興味深そうに耳を傾けていました。



次は、生のお米を両手ですくったり、さらさらと漏斗で流したり、筒の中に入れて振ってみたり、親子で一緒に遊んで楽しみました。子どもたちは動きによって変わる感触や音に夢中になっていました。その後は、炊いたお米を小さな袋に入れてもんでいきます。やわらかい感触を楽しんでいるうちに、糊のできあがり。最後は、その糊を使って作品づくり。

今田さんから「お母さんが夢中になってやると、子どもも夢中になります。しっかりと楽しんでみてください」とアドバイスがあり、お母さん

2016.3.17

街なか子育てひろばイベント

「親子ふれあい遊び」

3月の街なか子育てひろばのイベントは「親子ふれあい遊び」でした。今回は14組の親子が参加してくれました。指人形を使った歌が始まり、「きゃべつの中から」や「3匹の子豚」



などのパネルシアターを行いました。かわいい人形たちの登場を見て、たくさんの子どもたちがパネルの前に集合。ワークシヨップでは、お母さんとお子さんがハグをしたり、語りかけたりしながらの遊びをたくさん楽しみました。お母さんの膝の上に乗ってバスの運転手になる遊びでは、音楽に合わせて、左右に傾いたり弾んだりしながら、子どもたちはとても楽しそうな様子でした。(Y・M) 【参加人数29人】

AKLは今号から
全ページカラーになって
リニューアル!



編集後記

地震発生から約一ヵ月間は、作品保護や設備補修、再オープン準備などに追われ、館内は非常に慌ただしい状態でした。スタッフも皆、自分の生活環境も落ち着かない状態で働いていましたが、そんな中でいただいた「美術館は大丈夫ですか?」「開館を楽しみにしています」というお客さまからのお気遣いやご期待の声は、本当に我々の大きな励みになりました。また関係者の方々からも多くの温かい励ましの言葉をいただき、どれだけ力をもらったかわかりません。災害によって大きな傷を受けたこの場所で、美術館はこれから何をしていくべきなのか。それをしっかり考えながら、今後の活動を行っていきたくと思います。

編集長 佐々木玄太郎

AKL77号は4月に発刊の予定でしたが、地震による影響で紙面の内容も大幅に変更し、7月の発刊となりました。まさかあの夜、熊本であんなに大きな地震が来るなんて…。数日後、テレビや新聞で瓦や石垣の崩れ落ちた熊本城を見たときは、お花見やスケッチ大会の楽しかった思い出に胸が痛くなりました。再び記憶の中の雄姿を取り戻せるのはいつなのだろう…?美術館に遊びに来る子どもたちを見るたび、熊本の宝物が彼らの幸せな思い出に寄り添える日が戻ってくることを願ってしまいます。

担当 大田黒翔代

【執筆者一覧】*原稿の文末にインシヤル表記

- 兼城昌山 (S・K) [書道家]
- 森山淡草 (T・M) [書道家]
- 富澤治子 (H・T) [熊本市現代美術館主任学芸員]
- 坂本顕子 (A・S) [熊本市現代美術館主任学芸員]
- 芦田彩葵 (A・A) [熊本市現代美術館主任学芸員]
- 佐々木玄太郎 (G・S) [熊本市現代美術館学芸員]
- 池澤茉莉 (M・I) [熊本市現代美術館学芸員]
- 丸吉ゆかり (Y・M) [熊本市現代美術館学芸アシスタント]
- 大田黒翔代 (K・O) [熊本市現代美術館学芸アシスタント]
- 塚本春菜 (H・Ts) [熊本市現代美術館学芸アシスタント]
- 村上綾 (A・M) [熊本市現代美術館学芸アシスタント]

ART KISS LETTER アート・キッスレター

vol.77 夏号 (2016年7月) 【無料】

発行人: 桜井武
編集: 佐々木玄太郎 大田黒翔代
デザイン: 石井克昌 (MOTOSHIKI)
印刷: シモダ印刷
発行: 熊本市現代美術館
http://www.camk.or.jp
〒860-0845 熊本市中央区上通町2-3
電話 096-278-7500 FAX 096-359-7892

【次号は秋号(9月発行予定)】

ART DE GYAN

アート・どぎやん

熊本弁で「アートはどなの?」という意味です

第35回尚綱大学書道コース 卒業書作展

熊本県立美術館分館
熊本市中央区千葉城町2-18
096-351-8411
2016.1.13-1.17

尚綱大学書道コースの恒例の「卒作展」である。13名の学生たちは4年間の取り組みを大成しようとして頑張っていた。尚綱大の卒作展は、例年であれば4階の展示室3で、超大作に挑む若さ漲る表現が話題を呼んでいたが、今年は1階のギャラリと展示室1しか使えなかったため、作品をこぢんまりと纏めざるを得ないという制約の中で、学生たちが思い切ったアピールが出来なかったのは少々気の毒



であった。その中で仲村知美、鳥羽瀬優果、高田理葉の頑張りが印象に残った。(T・M)

必由館高校芸術コース書道系

第13回卒業制作展

熊本県立美術館分館
熊本市中央区千葉城町2-18
096-351-8411
2016.1.19-1.24

熊本市立必由館高校芸術コース書道系11名の卒業制作展である。必由館の芸術コース書道系の作品レベルは県内では第一高校と競い合い、ほかに今後御船高校の躍進が期待されている状況である。高等学校の芸術教育の現状は、正規の授業は別として、活発な部活動が高等学校文化連盟の全国大会・九州大会に繋がっているため、スポーツクラブに似た活力が視える。その中で必由館書道系の活躍は目覚ましいものがある。

本展で特に印象深かったのは、上野ひなた・楊峴風の隸書でまとめた「呉蘭雪詩二首」。馬場美弥・帛書風の篆書でまとめた「尤怡詩 秋晚登樓」。それに目立った派手さは無いが、小山剛平・1年生時の「蘭亭序」の臨書。(T・M)

第17回

熊本県独立書人団展

崇城大学ギャラリー
熊本市中央区花畑町10-25
096-323-1158
2016.3.15-3.20

現代書団で昭和の三筆の一人と評された手島右卿が創立した

（公財）独立書人団に所属する熊本県内のグループの作品発表会。24名が大小2点ないし3点の出品で、大方が熱意に満ちた計46点を発表していた。

数年前まで本展を率いて来た前県代表の徳永巢鶴氏は3点を出品していたが、中でも「蘭亭序」一節は心に残る作品であった。王羲之の名作の臨書であるが、無駄な技法がそぎ落とされ、氏が若い頃熱中して臨書した

劉石庵の風格がほの見えて楽しかった。現代表の中村太湯氏の古文「鳳」の大作は目を引くに十分な迫力で面白い。釈文に「モスラの如く羽音響かせ飛び立たん」とあったが、この詞を作品の余白に調和させたらもっと面白くなったと思った。安倍春山氏が病後左手で奮闘する姿に敬服していたが、遺作を発表していたのは、同輩として如何にも残念であった。(T・M)

大堂喜三子

傘寿記念展

熊本県立美術館分館
熊本市中央区千葉城町2-18
096-351-8411
2016.5.30-6.5

大堂喜三子さん(81才)は、毎日書道展の会友で、傘寿を記念して、書27点、日本画4点、水墨画27点を展示していた。

「ゴージャン」の絵画の如き原色のはらわた見せて熟れたる「ゴージャ」という松崎浩一郎のうたを、力強くはげしい筆のタッチで3尺×4尺に見せていた。「年の瀬に日頃に増して望郷の



思い募れり冴ゆる星空」植穂要三の歌を、全文で「星」を大きく上に書いて、さわやかな線であまくまとめていた。近代詩文書が多く、「傘寿」と漢字作品も並べてあり、長年の書作の努力のあとが見られた。井之上南岳さん(日展会友)の書、春山千草さん(県美術家連盟会員)の絵も賛助出品されていた。(S・K)



熊本地震後の美術館



散乱した本



再オープン初日の様子

子ども向け上映会に集まった子どもたち

熊本生まれ
の
マンガ家特集

熊本のマンガ家特集
(スカイギャラリー)



補修工事の様子

この度の地震で被災された皆さまに、心よりお見舞い申し上げます。

今回の地震により、熊本市現代美術館もさまざまな形で被害を受け、当館スタッフは地震発生直後から現在に至るまでその対応に当たっています。

館内の展示作品は、地震により傾いたり壁から落下したりしたものもありましたが、おおむね無事でした。余震が続く中、展示されていた作品は安全確保のために全て壁から下ろし、より安全な保管庫に納める措置を取りました。収蔵庫内に保管されていた当館収蔵作品については、整理作業とコンディションチェックを進めています。(2016年6月現在)

美術館自体は、安全確認と必要な修復措置のために地震からおよそ一ヶ月のあいだ

臨時閉館とさせていただきます。その後、メンテナンスが完了したフリースペースのみ5/11より部分的に再オープンすることができました。再開館にあたり、被災された方々に美術館で少しでもおくつろぎいただけるように、普段より開催している月曜ロードショーやピアノコンサートに加えて、子供向け映画上映会や熊本関連のマンガ特集、ぬり絵コーナーの設置など、ささやかながら臨時的企画も行いました。

ギャラリーⅠ・Ⅱで開催されていた「だまし絵王エッシャーの挑戦状」展は地震により中断を余儀なくされましたが、多くの方々の励ましとハウステンボス美術館のご厚意により、整備が終了したギャラリーⅢと井手宣通記念ギャラリーの2室を使い、内容を再構成して、5/18より観覧無料で再開すること

ができました。また、撮影コーナーとして展示会場内に設置していた「エイムズの部屋」は、全ての来館者にお楽しみいただけるよう美術館エントランスに移設を行いました。

熊本市現代美術館は、夏の「かえってきた!魔法の美術館」展より、再び全館オープンとなりました。今回の地震を受けて、美術館としても館内の安全管理について再度見直しを行い、来館者の皆さんにより安全な環境の中で展示をご覧いただけるように、また作品をより安全な状態で保管・展示できるように、態勢を整えています。

被災後の厳しい状況の中でありますが、当館がアートのあるくつろぎの場となり、その多様な活動によって街なかに賑わいを添え、復興の道筋の一助となることを願っています。(編集：佐々木玄太郎)



エイムズの部屋



再開したエッシャー展

- 4/14 前震発生(帰宅困難者にフリースペース開放)
- 4/15 臨時閉館
- 4/16 本震発生
- 4/16～5/10 臨時閉館(館内安全確認・復旧工事)
- 5/11～フリースペースのみ再オープン(10:00-18:00の短縮開館)
- 5/18～「だまし絵王エッシャーの挑戦状」展(特別展示)再開
- 6/1～開館時間が通常通りの10:00-20:00に
- 6/25～「かえってきた!魔法の美術館」展より、全館オープン



地震発生前の「だまし絵王エッシャーの挑戦状」展会場